

## オンラインによる読み聞かせとワークショップ

コロナ禍の中、「新しい生活様式」などを踏まえ、子どもが主体的に読書活動に取り組むことができるような、対面とオンラインの併用による読書活動の取組を県内全域に広めていくため、モデル事業を実施しました。

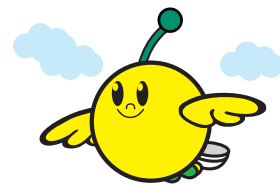
## 幼児対象

「Zoomを活用したオンラインによる指遊びの実演と読み聞かせ」

〈講師〉南相馬市立中央図書館 主任司書 佐藤 真紀氏

〈対象〉大玉村立大山幼稚園

- 講師による手遊び
- 絵本の読み聞かせ



## 児童対象

「Zoomを活用した読み聞かせの実演と複数校の児童による読書についてのワークショップ」

〈講師〉科学読物研究会 坂口 美佳子氏

〈対象〉平田村立蓬田小学校 第3学年  
南相馬市立八沢小学校 第3学年

- 「磁石に関する」読み聞かせと実験
- 読書に関する交流



## オンラインによる読み聞かせのメリット

- 大画面で大きな絵を提示できる。また、見せたい箇所を拡大して提示できる。
- 他校と交流しながら、読み聞かせができる。

## 参加者の声

- 大きな画面で読み聞かせ、とても楽しかった。
- 読書の魅力について感じ取れるよい経験ができた。
- 物語や童話等のお話が読書活動の中心であったが、説明的な内容（昆虫や食べ物等）の本も増え、ジャンルも広がった。

## 読書活動支援者育成事業 地区別研修会

福島県教育委員会では、子どもたちの読書活動を支援するために、読書に関する様々な分野のスペシャリストによる講義や演習、実践発表、参加者同士による情報交換などを県内7地区で開催し、読書ボランティアや司書の方々、学校の先生方等の読書活動支援者の資質向上を図る取組を行っています。

令和4年度 全7回開催